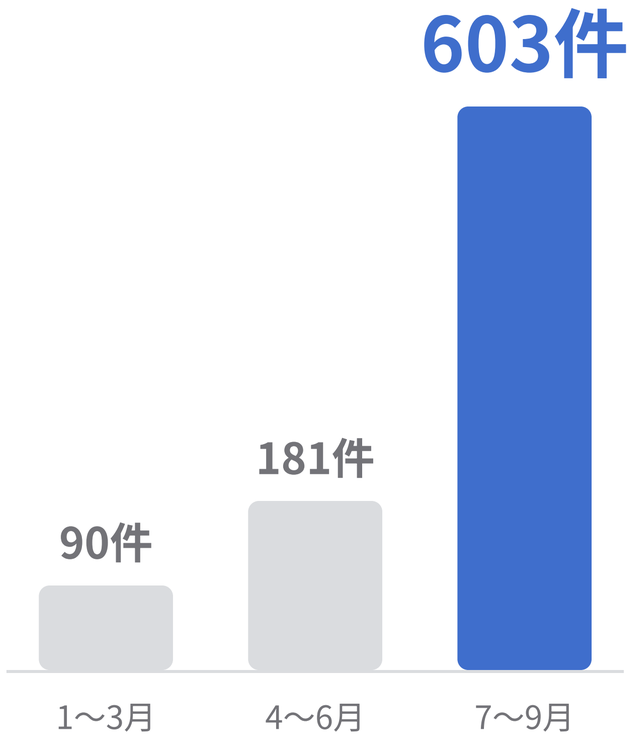
ヘッドレスCMSのご案内

作って終わりにしない、これからのホームページ運用

WordPressは、適切にアップデートし続ける必要があり、
放っておくと攻撃を受けやすくなるCMSです。
ヘッドレスCMSなら、攻撃の入口が減り、表示も速くなり、
保守費用も抑えやすくなります。

Webサイト改ざんの報告件数（2026年）



前の3か月から**3倍以上に増加**

出典：JPCERT/CC 四半期レポート 2026年7〜9月／JPCERT/CC 四半期レポート 2026年4〜6月。件数は寄せられた報告の数で、被害の総数ではありません。

こんなお悩みはありませんか

- [ ] プラグインやWordPressの**アップデートが負担**になっている
  → 3ページ　WordPressのアップデートが次々に必要になる理由
- [ ] **改ざんやセキュリティのニュース**を見ると自社のホームページが心配になる
  → 4ページ　WordPressのアップデートでは防げない弱点
- [ ] ホームページの**表示が遅い**と感じる
  → 6・7ページ　表示速度の違いと実測値
- [ ] **保守費用や急な対応の手間**を減らしたい
  → 8ページ　方式ごとの保守の手間と費用の目安

どれも、ヘッドレスCMSで減らせるお悩みです

WordPressのアップデートが次々に必要になる理由

WordPressの本体・プラグイン・テーマの弱点は次々に見つかり、そのたびにアップデートが出ます。

91%

2025年に見つかった
WordPress関連の脆弱性11,334件のうち、
プラグインが占める割合

- WordPress自体は良いCMSです。
  古いままのプラグインが危ないのです

  WordPress：世界のCMSの約6割／プラグイン：機能を追加する部品
  CMS：ページを更新する管理画面の仕組み

- 脆弱性の公表から大規模な悪用まで、
  中央値は約5時間。週末にまとめて
  アップデートするのでは間に合わないことも

  脆弱性：セキュリティ上の弱点

出典：W3Techs（2026）／Patchstack「State of WordPress Security in 2026」

WordPressのアップデートでは防げない弱点もあります

PHPやサーバーの弱点はサーバー側で直す必要があります。

- 2026年10月、PHPに重大な脆弱性（通称 **PHP2shell**）。
  ログインしなくても、外からサーバー上のプログラムを動かされるおそれ
  PHP：WordPressやお問い合わせフォームを動かすプログラム言語／サーバー：ホームページのデータを置いて公開するコンピューター

- ある大手レンタルサーバーでは修正まで表示を一時停止。
  PHPを使っていない**ホームページまで見られない**状態に
  レンタルサーバー：多くの会社が借りている共用のサーバー

今のサーバーでWordPressを動かし続けると、急な対応がこれからも起こりえます

出典：PHP公式 Security advisory（2026）／IPA「PHPの脆弱性対策について（PHP2shell）」（2026）／CISA Alert（2026）／国内大手レンタルサーバーの公式発表（2026）

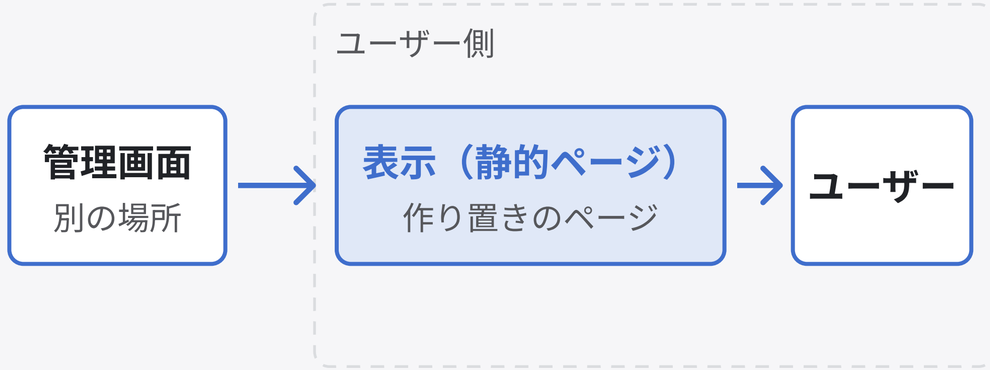
ヘッドレスCMSなら管理画面を別の場所に置けます

従来型



1台のサーバーに、管理画面とページの表示が同居
ユーザーが管理画面の入口にたどり着ける

ヘッドレスCMS



公開しているホームページには管理画面の入口がなく、
PHPも動かさない

分け方は2通り：**A 今の管理画面のまま**（ヘッドレスWordPress）／**B 新しい管理画面に移る**（microCMS）

出典：microCMSブログ「ヘッドレスCMSとは？」／WordPress公式「REST API Handbook」／Cloudflare Workers「Static Assets」

攻撃の入口が減り、表示が速く、保守費用も抑えやすい

見られるたびにページを作らず、完成したページを届けます。表示速度は、**Google検索の評価**にも使われます。

安全

ログイン画面もPHPも
ないので、パスワードの
総当たりやプラグインの
弱点を狙う攻撃が、
ホームページには届かない

速くて落ちにくい

完成したページを
そのまま出すので速く、
アクセスが集中しても
落ちにくい

保守費用を抑えやすい

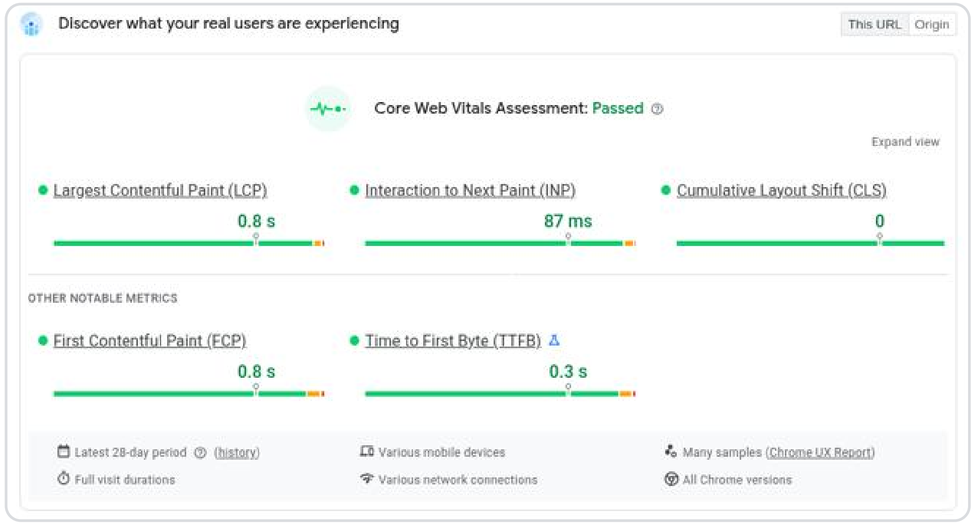
サーバーを自前で
管理しないので、OSや
PHPのアップデートと
保守の手間が減る

出典：Patchstack「State of WordPress Security in 2026」／Google検索セントラル「Core Web Vitals」「ページエクスペリエンス」／
IPA「PHPの脆弱性対策について（PHP2shell）」（2026）／Cloudflare Workers「Static Assets」／Cloudflare Workers「Overview」

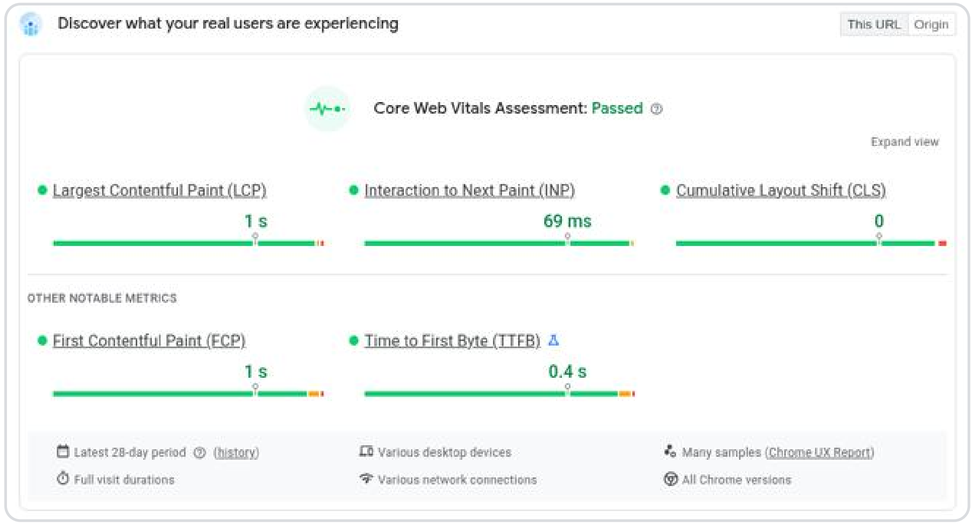
実績：表示速度が速い

私たちが運用しているホームページの実測値です（2026年10月30日時点）。

スマホ　LCP 0.8秒・INP 87ms・CLS 0



パソコン　LCP 1秒・INP 69ms・CLS 0



Core Web Vitals（Googleが定める表示速度・反応・ズレの指標）は、すべて「良好」

AIエージェント（人の代わりにホームページを見て操作するAI）向けのチェックにも合格（2/2）

出典：Google検索セントラル「Core Web Vitals」「ページエクスペリエンス」／Google PageSpeed Insights（2026）／社内の案件記録

画面を変えたくないならA、アップデートを任せたいならB

どちらの方式も、従来より表示が速くなり、保守費用も抑えやすくなります。

	WordPress（従来）	A 今の管理画面のまま （ヘッドレスWordPress）	B 新しい管理画面に移る （microCMS）
安全性	△ アップデートが欠かせない	○ ログイン画面が見えない	◎ 管理画面は完全に別
表示速度	△ 部品が増えると重くなりがち	○ 近くのサーバーから速く表示	○ 作り置きのページをCDNで表示
保守の手間	△ アップデートと確認が毎月発生	○ 管理画面のアップデートは残る※	◎ CMS自体のアップデートは不要
保守費用（目安）	月1万円〜3万円（税抜） 2026年10月時点・機能や規模で変動	急な対応・復旧の手間が減り、 抑えやすい	WordPressより抑えやすい
管理画面	いつもの画面	いつもの画面のまま	新しい画面（シンプルで覚えやすい）
移行の手間	—	小さい（今のWordPressを活かす）	記事の移し替えが必要

◎ とても良い　○ 良い　△ 注意が必要

※ AでもWordPress側のアップデートは残るため、条件により△　／　CDN：世界中に置いたサーバーから配る仕組み

出典：Patchstack「State of WordPress Security in 2026」／microCMSブログ「ヘッドレスCMSとは？」／microCMS「セキュリティ」／WordPress公式「REST API Handbook」／Cloudflare Workers「Static Assets」／Cloudflare Workers「Overview」

ヘッドレスCMSならお悩みを減らせます

- [x] プラグインやWordPressの**アップデートが負担**になっている
  → サーバーやPHPのアップデートが減ります（Aでは管理画面のWordPressのアップデートは残ります） 6・8ページ

- [x] **改ざんやセキュリティのニュース**を見ると自社のホームページが心配になる
  → 公開しているホームページには管理画面もPHPも置かないので、攻撃の入口が減ります 5ページ

- [x] ホームページの**表示が遅い**と感じる
  → 完成したページをそのまま届けるので、従来より表示が速くなります 6・7ページ

- [x] **保守費用や急な対応の手間**を減らしたい
  → 急な対応や復旧の手間が減り、保守費用も抑えやすくなります 8ページ

作り直しではなく「切り替え」か「お引っ越し」

デザインを変えずに、記事や画像も新しい仕組みへ移せます。

A 今の管理画面のまま
（ヘッドレスWordPress）

管理画面はそのままで、公開している
ホームページだけ切り替え

保守の手間と急な対応を減らせる

1 残す → 2 つくる → 3 切り替える

B 新しい管理画面に移る
（microCMS）

記事・画像を取り出して、
microCMSへ**丸ごとお引っ越し**

WordPressのアップデート作業そのものがなくなる

1 移行する → 2 整える → 3 公開

どちらも、URLは可能な限り引き継ぎ、今のホームページは公開したまま切り替えます

出典：microCMSブログ「WordPressからmicroCMSへの移行チュートリアル【準備編】」／WordPress公式「REST API Handbook」／Cloudflare Workers「Static Assets」

WordPressを使い続けるなら、この5つを確認してください

WordPress は、日ごろの点検と備えが欠かせません。

- [ ] ホームページを**最後にアップデート・点検した時期**が分かる
  WordPressの本体・プラグインも含めて
- [ ] **使っていないプラグインやアカウント**を整理している
  辞めた人の管理画面アカウントなど
- [ ] **バックアップ**があり、どこにあるか分かる
  いざというとき元に戻せるか
- [ ] 管理画面のログインに**2段階認証を設定**している
  パスワード＋スマホの確認コードなど
- [ ] **困ったときの連絡先**が決まっている
  保守の担当や契約など

1つでも「いいえ」があれば、ご相談ください

出典：警察庁「ウェブサイト改ざん対策」／IPA「情報セキュリティ10大脅威 2026」

ご相談から公開後まで、6つのステップで進めます

A・Bどちらの方式でも、流れは同じです。

01	**ご相談**	今のホームページの状況や、お困りごとをお聞きします
02	**現状の確認**	サーバー、WordPress・PHPのバージョン、使っている機能を確認します
03	**方式のご提案・お見積り**	A・B、または今のWordPressの保守から、合う方法をご提案します **制作費は、方式・ページ数・機能によってお見積りします**
04	**構築**	今のホームページは公開したまま、新しいホームページを準備します
05	**確認・切り替え**	表示や動作を一緒に確認してから切り替えます
06	**保守**	公開後も、更新対応・稼働監視・トラブル時のご連絡で見守ります

よくあるご質問

Q. 今のWordPressの管理画面は、使えなくなりますか？

ヘッドレスWordPressなら、**今までの画面のまま**使えます。

Q. ヘッドレスCMSにすれば、絶対に安全ですか？

「絶対」はありません。攻撃される入口を減らし、**守るべき所を絞れる**のが利点です。

Q. 保守費用はどれくらいかかりますか？

WordPressの継続保守は**月1万円〜3万円**（2026年10月時点・税抜・機能や規模により変動）が目安です。
ヘッドレスCMSにすると、サーバーやPHPのアップデートが減るぶん、この目安より抑えやすくなります。

Q. 今のWordPressのまま使い続けたい場合は？

作り直さなくても、CloudflareなどのWAF（怪しいアクセスを手前で止める仕組み）を入れたり、
管理画面の入口を絞ったりできます。保守ではアップデート・バックアップに加え、脆弱性を毎日チェックします。

出典：microCMSブログ「ヘッドレスCMSとは？」／microCMS「セキュリティ」／WordPress公式「REST API Handbook」

ヘッドレスCMSで、安心して運用できるホームページへ

01 **WordPressは適切なアップデートが欠かせない**

本体・プラグイン・PHPに、次々とアップデートが出ます

02 **放っておくと、攻撃を受けやすい**

5つのセルフチェックで、今の状態を確かめられます

03 **攻撃の入口が減り、表示も速くなる**

ヘッドレスCMSなら保守費用も抑えやすく、記事や画像も移せます

次の一歩

① **ご相談**（現状をお聞きします）

② **今のホームページの確認**

③ **A・B、または今のWordPressの保守から、合う方法をご提案**

まずはお気軽にご相談ください

保守契約中のお客さまは、担当者にお声がけください